

此辺岡崎聖護院等の村民は菜蔬を作るに精しく、毎年仲春より瓜茄子の初ものを出し、また近年尾張種の太蘿蔔をつくり得て、例歳十月のころ日毎に市に荷ふて売事しばしばなり。都人これを求て風呂吹の味噌かけ、或は油豆腐と共に煮て羹とし会式十夜講の料理に用ふること例式となりて都下一箇の奇玩となれり。

蒼■・我畑の卑下もやさしや大根引